

<スクリプト>

「今日のゲストは『教育活動家』の犬飼良成さんです。」

1. 「教育活動家」と言う肩書きは聞き慣れない肩書きですが、  
どのような想いが詰まっているのですか？

2. 標高 5,800m のキリマンジャロに登った！ のですよ。  
経営者や教育者というより、冒険家のようなイメージが  
しますが、何故登ろうと思ったのですか。

「オンエアは時間になってしまいましたが、続いて幼稚園の事や、犬飼さんが代表を務める  
協会の話し、それに今後の予定などを伺います。聞きたい人はこちらにアクセスして下さ  
い。」

で一旦戻る。

(ここで4分、以下に続く)

3. では、ご本業の幼稚園ですが、学校法人の概要を教えてください。

3-1. 園児や先生は何人位ですか？

3-2. どのような所が特徴ですか？

4. 「日本ペアレンティング協会」についても教えてください。何故、作ったのですか。

5. 最後に、今後の予定などを教えてください。

(出版の予定や夏のイベントなど)

1. 「教育活動家」と言う肩書きは聞き慣れない肩書きですが、  
どのような想いが詰まっているのですか？

私は今でも様々な学びをしています。例えば「心理学」「コーチング」「NLP」他などを行いました。こどもの頃から学ぶことは嫌いではなく、幼児期のIQも160（東京大学の入学が120以上、アインシュタインが200あったと言われていました。平均は100）と平均よりかなり高かったのですが、とにかく人から何かを指示されることが嫌いで、「宿題」を1度もやったことがないんです。笑

これは「真似するところではない」のですが、「教育家」は教育学部を出て、学校の先生を経て、それなりに自分を理論武装していないと出来ない「肩書き？」だと思い、私に取っての「ピッタリな肩書き」って何だろう？

と思いオリジナルで作りました。笑

正式には

30年後の日本の未来をデザインする「教育活動家」と名刺には記載しています。

2.標高約 6,000mのキリマンジャロに登った！のですよね。

まず、キリマンジャロと言う山が何処にあるのか？はご存知ですか？

アフリカの中央部～一番右側の海沿いで赤道直下にある国です。

2014年の年末～2015年の元日に帰国しました。

私がそこで感じたことは、蛇口をひねると「あったかいお湯が出る」ことや「布団の暖かさ」を日本に戻って感激したことでした。

3.経営者や教育者というより、冒険家のようなイメージがしますが、何故登ろうと思ったのですか。

大人達はこどもへの活動として、結局の所、「今の時代に見合うスタイルの勉強」を学ばせようとしているだけのように、私は思っています。

こども達って私たちも含めて、どこを見て育っていると思いますか？

「パパやママ」の「キラキラとした姿=笑顔」や「悲しんでいる姿=涙」に一番影響受けるのかな？と思います。

ではパパやママ達は「キラキラしてますか？」

私は「今自分ができていることに生きる！」を大人達が背中で見せて行くことで、こども達の未来は希望に溢れた未来になると信じています。

「30年後の日本の未来をデザインする！」

この番組を見ている大人の方達もキラキラ輝いて生きていきましょう！

犬飼良成（いぬかいよしなり）さん

「30年後の日本の未来をデザインする教育活動家」

学校法人や非営利型一般社団法人などの経営者。

船橋市内に幼稚園と2ヶ所の保育園、オーストラリアにもプレキンダーガーデンを併設。

2014～2015年にかけて標高約 6,000mのキリマンジャロの登頂にも成功。

2015年、「日本ペアレンティング協会」を立ち上げ、親の教育にも取り組む。